



**津城山古墳** 藤井寺市津堂

古市古墳群で最初に築造された、最も北側にある墳丘長210mの前方後円墳で、くびれ部両側に造出しが設けられ、周囲には二重の濠と堀をめぐらせて、全長は約440mです。室町時代に小山城を築くため墳丘が大きく改変されていますが、1912年に後円部頂上でみつけた竪穴式石室内から、大きな長持形石棺と鏡、武器・武具などの副葬品が出土しました。これらから4世紀後半の築造であると考えられます。発掘調査で周濠内に1辺17mの方形の水鳥形車輪が確認されました。斜面に墓石が造られ、南側の浅い堀に3枚の水鳥形車輪が埋められていました。水鳥形車輪は2006年、重要文化財に指定されています。

後円部北側にはガイダンス棟「まほらしるやま」があります。周濠には小山花というふじ園と津堂草花園があり、四季折々の花を楽しむことができます。



**仲姫皇后陵古墳とその周辺** 藤井寺市沢田4丁目

応神天皇陵古墳の北側に築造された墳丘長290mの前方後円墳で、くびれ部両側に造出しがあります。古市古墳群では応神天皇陵古墳に次ぐ大きさです。周囲の狭く深い濠と幅広の堤はこの古墳の特徴です。発掘調査で堤の外側斜面にも墓石を施していること、堤の上に円筒形副葬品があることがわかりました。遺構の特徴から津城山古墳に次ぐ時期の大王塚で、5世紀前半の築造であると考えられます。

後円部北東の一辺63mの方形銅鍮車輪は、仲姫皇后陵古墳と同じ時期に造られた陪家と考えられます。南側の三ツ塚古墳(助太山・中山塚・八島塚)の濠からは修繕が出土し、2006年に重要文化財に指定されています。



**墓山古墳とその周辺** 羽曳野市白3丁目、藤井寺市野中3丁目

古市古墳群のほぼ中央に築造された墳丘長225mの前方後円墳です。くびれ部両側に造出しがあり、周囲には濠と堀をめぐらせています。後円部には竪穴式石室内が築かれ、長持形石棺が納められているといわれています。わずかに知られている副葬品や遺構などから、応神天皇陵古墳よりやや古い5世紀前半に築造されたと考えられます。

周辺には、陪家と考えられる古墳4基が規則的に配置されています。北側の野中古墳や西側の西原山古墳は、鉄製の武器や農具が多量に納められており、墓山古墳の被葬者は当時貴重な鉄を多量に所有できた実力者であったと推定されています。



**応神天皇陵古墳とその周辺** 羽曳野市菅田6丁目

古市古墳群最大の前方後円墳です。墳丘長425mと墳市の衣笠天皇陵古墳に次ぐ大きさで、体積は日本一を誇ります。くびれ部両側に造出しがあり、周囲には二重の濠と堀がめぐりますが、東側では先に造られていた三ツ塚古墳があるため幅が狭くなっています。円筒形副葬品や水鳥などの形象車輪の他に、衣笠形木製土器やタコなどの土製品が見つっています。これらの特徴から5世紀中頃に築造されたと考えられます。

周辺には5基の小古墳が規則的に配置され、陪家と考えられます。このうち菅田丸山古墳は応神天皇陵古墳の主軸線上に位置して築かれ、1848年に出土した金銅製龍文透彫金具などの馬具は大陸伝来の国際性豊かな優品で国に指定され、現在菅田八幡宮に展示されています。



**野中宮山古墳とはさみ山古墳** 藤井寺市野中2丁目、野中1丁目

古市古墳群の中央に2基の前方後円墳があります。南側の野中宮山古墳は前方部を西に向け、墳丘長は154mです。前方部上面は削平されています。後円部頂上に板状の石が散らばっていたことから、竪穴式石室内部施設にしていると考えられます。南側に長大な造出しがあり、登、水鳥などの形象車輪が出土しています。遺構の特徴から5世紀前半の築造と考えられます。春は桜の名所として親しまれています。

北側のとはさみ山古墳は前方部を東に向けており、墳丘長103mで、くびれ部両側に造出しがあります。発掘調査で、幅の広い堤と円筒形副葬品が確認されており、その特徴から応神天皇陵古墳とほぼ同じ5世紀中頃に築造されたと考えられています。



**古室山古墳と大鳥塚古墳 赤面山古墳** 藤井寺市古室2丁目

応神天皇陵古墳と仲姫皇后陵古墳の間に2基の前方後円墳があります。北側の古室山古墳は墳丘長150mで、出土した遺構から4世紀後半に築造されたと考えられています。墳丘に登ると、東には前期古墳が連なる玉手山古墳群を望むことができます。眺望の素晴らしい古墳です。春には桜の名所としても楽しめます。

南側の大鳥塚古墳は墳丘長110mで、周囲には幅の狭い濠をめぐらせています。遺構の特徴から5世紀前半に築造されたと考えられています。

古室山古墳と大鳥塚古墳の間には、一辺15mの方形である赤面山古墳があります。現在、西名阪自動車道の高架下に残るその姿は、1960年代における国土開発と文化財保護の調整の結果を今に伝えています。



**允恭天皇陵古墳とその周辺** 藤井寺市国府1丁目

古市古墳群の北東部に築造された墳丘長230mの前方後円墳です。くびれ部両側に造出しがあり、二重の濠と堀をめぐらせています。周囲の調査で円筒形副葬品・盾・鏡・衣笠形などの副葬品、馬・犬形などの動物車輪、人物車輪などが出土しています。墳形や遺構の特徴から5世紀後半に築造されたと考えられます。

周辺には允恭天皇陵古墳の陪家と考えられる中、小規模の古墳が点在しています。後円部西側外堤に接している従40mの円墳である長持山古墳からは、防扉の鳥獣首を用いた割底式の石棺が2基発見されました。道明寺小学校内の石棺展示施設で見学することができます。



**日本武尊白鳥陵古墳** 羽曳野市軽3丁目

古市古墳群の南部に築造された墳丘長200mの前方後円墳で、くびれ部北側に造出しがあります。前方部が後円部を上回り、高さは前方部が3m高いという特徴があります。周囲には濠と堀をめぐらせています。発掘調査で出土した遺構の特徴などから、古墳は5世紀後半頃に築造されたと考えられます。

『日本書紀』には「日本武尊が伊勢の熊野野で亡くなり、白鳥となって大和の琴弾原を經由して古市に飛来し、その後、道生野を天に向かつて羽をまくように飛び去った」という白鳥伝説があり、羽曳野市の名前の由来となっています。



**峯ヶ塚古墳** 羽曳野市軽2丁目

古市古墳群の西南部に築造された墳丘長96mの前方後円墳で、くびれ部両側に造出しがあります。周囲には濠と堀をめぐらせ南側以外には二重目の濠があり、後円部では石室が確認され、多くの副葬品が発見されました。鏡や武器などの豪華な副葬品が出土し、大和の琴弾原を經由して古市に飛来し、その後、道生野を天に向かつて羽をまくように飛び去った」という白鳥伝説があり、羽曳野市の名前の由来となっています。

遺構の特徴から古墳は5世紀末頃に築造されたと考えられます。周囲は峰塚公園として市民の憩いの場になっています。



**仲哀天皇陵古墳** 藤井寺市藤井4丁目

古市古墳群の西部に築造された墳丘長242mの前方後円墳で、古市古墳群で3番目の大きさです。くびれ部東側に造出しがあり、周囲には幅の広い濠と堀をめぐらせています。1996年の発掘調査で、墳丘は中世に城郭として利用され、古墳本来の姿を大きく失っていることがわかりました。堤の上では円筒形副葬品が確認され、他に盾などの形象車輪も出土しています。遺構の特徴から5世紀後半に築造されたと考えられます。濠にはたくさん水鳥が飛来し、絶好のハードウォッチングスポットになっています。

後円部北側には墳丘長60mの前方後円墳である蘇我古墳があり、陪家と考えられます。



**雄略天皇陵古墳** 羽曳野市島泉8丁目

古市古墳群の西北部に位置します。江戸時代の絵図によると、墓山古墳だけが古墳として認識されていたようです。1885年、丸山古墳(内墳)と平塚古墳(外墳)を合わせて、今の前方後円墳のような形に整えられ、宮内庁によって「雄略天皇再臨高麗陵」とされています。

丸山古墳は径約75mで、周囲には濠がめぐり、円墳としては全国でも屈指の大きさを誇りますが、濠の北側は後世に大きく掘削されています。いわゆる「倭の大王」の一人「武」として記される雄略天皇の陵墓が円墳であることについては、今後の調査や研究が待たれます。



**安閑天皇陵古墳と春日山天后皇后陵古墳** 羽曳野市古市5丁目

古市古墳群の最南端に築造された墳丘長122mの前方後円墳です。前方部幅が後円部を上回り、北側には造出しがあったようです。墳丘は中世の高麗風の築造による変形が著しく、本来の姿が大きく失われています。出土した遺構や墳墓の特徴から、6世紀前半頃に築造されたと考えられます。なお、東京国立博物館に所蔵されているベルンツァーガラス碗は、この古墳から出土したといわれています。

南に位置する春日山天后皇后陵古墳は、現状では一辺40mの方形で、墳丘長85mの前方後円墳であることが判明されています。出土した遺構から6世紀初めに築造されたと考えられます。



**清寧天皇陵古墳とその周辺** 羽曳野市西浦4丁目

古市古墳群の西南端に築造された墳丘長115mの前方後円墳です。くびれ部北側に造出しがあります。周囲には濠と堀をめぐらせており、発掘調査で二重目の濠も確認されました。出土した遺構や古墳の形などから6世紀前半頃に築造されたと考えられます。

東側には墳丘長46mの前方後円墳、小白藪山古墳があります。周囲には盾形の濠がめぐることが発掘調査で確認されています。両古墳の遺構が類似することから、墳丘の主軸線が一致することから、同じ時期に築造された主墳と陪家の関係にあると考えられます。



**仁賢天皇陵古墳** 藤井寺市青山3丁目

古市古墳群の西南部に築造された墳丘長122mの前方後円墳で、くびれ部両側に造出しがあります。周囲には濠と堀をめぐらせています。遺構の特徴から6世紀前半に築造されたと考えられます。なお、堤の北西部にはこの古墳に使った遺構を焼いた「野々上遺構群」があります。

北側の野々上古墳は一辺20mの方形で、出土した遺構から仁賢天皇陵古墳より100年以上古い5世紀後半に築造されたと考えられます。

## Information

### 古市古墳群の位置



### 交通



編集・発行 古市古墳群世界文化遺産登録推進連絡会議  
 羽曳野市政策推進課世界文化遺産推進室  
 〒583-8585 羽曳野市国府4-1-1 TEL 072-938-1111 http://city.habikino.osaka.jp/  
 藤井寺市政策推進課世界遺産登録推進室  
 〒583-8583 藤井寺市南1-1-1 TEL 072-939-1111 http://city.fujidera.osaka.jp/

## 古市古墳群とは

大阪府の東南部、藤井寺市から羽曳野市にかけて東西4km、南北4kmの範囲に分布する古墳群です。4世紀後半、それまで大和築造されていた大王陵は河内平野に造営されるようになります。巨大な前方後円墳の応神天皇陵古墳から一辺100mにも満たない小型の方墳まで大小129基の古墳が6世紀中頃まで連続と造られます。また、さまざまな埋葬方法が採用され、副葬品では多量の鉄製の武器や武具、農具に加えて金銀を使用したきらびやかな馬具や装飾品が含まれるようになるのが特徴です。

中国の歴史書『宋書』に「倭の五王」が中国に使節を送った記述が見られますが、古市古墳群には倭の五王のうちの幾人かが、葬られていると考えられています。古市古墳群は、墳市の百舌鳥古墳群とともに当時の大王とその一族や、仕えた人々の興津城であると考えられます。

古墳名	大きさ	古墳名	大きさ
応神天皇陵(菅田御前山)	425	蘇我(史跡)	63
仲姫皇后陵(仲津山)	290	雄略天皇陵(島泉平塚)	50
清寧天皇陵(白藪山)	242	中山山(仲姫陵陪家)	50
允恭天皇陵(市野山)	230	八島塚(仲姫陵陪家)	50
墓山(仲姫陵陪家)	225	東山(史跡)	50
津城山(陪家・史跡)	210	西馬塚(仲姫陵陪家)	45
日本武尊白鳥陵(前の山)	200	粟塚(仲姫陵陪家)	43
野中宮山	154	野中(史跡)	37
古室山(史跡)	122	助太山(史跡)	36
仁賢天皇陵(ホケ山)	120	藤井(史跡)	30
安閑天皇陵(高麗城山)	115	東馬塚(仲姫陵陪家)	30
清寧天皇陵(白藪山)	112	華人塚(雄略陵陪家)	20
二ツ塚(仲姫陵陪家)	110	野々上(仁賢陵陪家)	20
大鳥塚(史跡)	110	松川塚	20
はさみ山(史跡)	103	赤面山(史跡)	15
峯ヶ塚(史跡)	96	雄略天皇陵(島泉山)	75
春日山天后皇后陵(高麗八幡山)	85	菅田丸山(史跡)	62
鉢塚(史跡)	60	菅田丸山(史跡)	50
唐塚山	59	宮の南塚(允恭陵陪家)	40
稲荷塚	50	壱所山(史跡)	22
小白藪山(清寧陵陪家)	46	赤塚(史跡)	20
向山(仲姫陵陪家)	68	サンド山(史跡)	30
浄元寺山	67		

(大きさの単位: m)

### 展示施設一覧

名称	所在地/問合せ先	休館日等
羽曳野市立 阪南の歴史総合センター	〒583-0881 羽曳野市島泉 0-0-1 072-952-2751	12月30日 ～1月4日 入館料無料
羽曳野市 文化財展示室	〒583-0056 羽曳野市白鳥 3-147 072-958-0053	見学要予約 入館料無料
豊田八幡宮 宝物館	〒583-0057 羽曳野市菅田 3-2-8 072-958-0053	見学要予約 拝観料 400円
城山古墳ガイダンス 藤井寺市 小鳥 6-3-6	〒583-0012 藤井寺市小鳥 6-3-6 072-939-1417 (大和交通)	月、火曜日 年末・年始 入館料無料
藤井寺市立 道生野(白鳥塚)	〒583-0024 藤井寺市藤井寺 3-1-20 072-952-7800	月曜日、祝日、年末・年始、館内整理日 入館料無料
藤井寺市立 野々上遺構群	〒583-0007 藤井寺市林 2-2 072-939-2197	なし
長持山古墳出土 石棺展示施設	〒583-0011 藤井寺市沢田 3-6-3 072-939-1417 (大和交通)	無料
道明寺天満宮 宝物館	〒583-0012 藤井寺市道明寺 1-16-40 072-953-2925	見学要予約 拝観料 300円



**QRコード  
音声ガイド**

お持ちの携帯電話で古市古墳群の音声ガイドが楽しめます。  
(ご利用の際は通信料が必要です)  
※機種によっては対応しない場合があります

リンク先: 青島 docomo, Soft Bank

- 応神天皇陵古墳
- 峯ヶ塚古墳
- 日本武尊白鳥陵古墳
- 津堂城山古墳
- 仲姫皇后陵古墳
- 允恭天皇陵古墳
- 仲哀天皇陵古墳

## 古市古墳群 3つのウォーキングコース

- A 西部縦断もりだくさんコース** 【行程 約9km】
- 古市古墳群初期の大古墳である津堂城山古墳と後半期に築造された古墳を巡るコースです。津堂城山古墳にある津堂城山花園の花や仲哀天皇陵古墳、日本武尊白鳥陵古墳の遺跡では鳥居も楽しめます。アイセルシュラホール2階には世界遺産情報コーナーと歴史展示室があり、城山古墳出土の水鳥形埴輪(埴文)など形象彫刻が見えます。またコース途中には、千手観音菩薩坐像(国宝)を本尊とする尊井寺があります。
- 近鉄南大阪線「高麗駅」→陵南の森総合センター【展示室】→雄略天皇陵古墳→津堂城山古墳 ガイダンス棟まはらしりやま→鉢塚古墳→仲哀天皇陵古墳→アイセルシュラホール【展示室】→仁賢天皇陵古墳→峯ヶ塚古墳【峰塚公園】→清寧天皇陵古墳→日本武尊白鳥陵古墳→安閑天皇陵古墳→近鉄南大阪線「古市駅」
- B 中央横断断崖を歩こうコース** 【行程 約6km】
- 古市古墳群の中央に集まる古墳を巡るコースです。鉢塚、野中宮山、野中古墳は墳丘に登ることができ、古墳の形や大きさが体感できます。桜の花が咲く頃の野中宮山古墳はとくにきれいです。
- 近鉄南大阪線「藤井寺駅」→鉢塚古墳→仲哀天皇陵古墳→アイセルシュラホール【展示室】→番所山古墳→はざみ山古墳→野中宮山古墳→福塚古墳→青山古墳→古市大溝跡→浄元寺山古墳→墓山古墳→野中古墳→羽曳野市文化財展示室→向墓山古墳→誉田白鳥輪軸築跡群→西馬塚古墳→近鉄南大阪線「古市駅」
- C 東部縦断巨大な古墳を体感しようコース** 【行程 約6km】
- 土師師の本拠地と古市古墳群最大の応神天皇陵古墳を巡るコースです。応神天皇陵古墳、仲姫皇后陵古墳、允恭天皇陵古墳など巨大な古墳を間近に見ることが出来ます。古室山古墳の墳頂部からの眺望はすばらしいですよ。またコース途中には、金銅製文透形鏡金具(国宝)を所蔵する誉田八幡宮、十一面観音菩薩立像(国宝)を本尊とする道明寺、道真公の遺品(国宝)を所蔵する道明寺天満宮があります。
- 近鉄南大阪線「土師ノ里駅」→長持山古墳出土石棺展示施設【道明寺小学校】→允恭天皇陵古墳→史跡国府遺跡→衣縫塚古墳→宮の南塚古墳→鉢塚古墳→仲姫皇后陵古墳→古室山古墳→赤面山古墳→大鳥塚古墳→誉田丸山古墳→応神天皇陵古墳→東山古墳→野中古墳→墓山古墳→羽曳野市文化財展示室→向墓山古墳→誉田白鳥輪軸築跡群→誉田八幡宮【宝物館】→栗塚古墳→東馬塚古墳→厩塚古墳跡【府省道明寺住宅公園】→三ツ塚古墳→道明寺天満宮【宝物館】→近鉄南大阪線「道明寺駅」

**おすすめスポット**

**街道**

古代より都へ通じる道が古市古墳群内を走っていました。南北方向の東高野街道(旧南海道)、東西方向の長尾街道(旧大津道)、竹内街道(旧丹波道)です。

**古墳の四季**

古市古墳群内には津堂城山花園、小山花しょうぶ園、峰塚公園など古墳と共に四季の花々や自然を堪能できるスポットが数多くあります。桜の名所もたくさんあります。

**陵印**

応神天皇陵古墳拜所棟にある、宮内庁書陵部古市陵墓区事務所では、古市古墳群の歴史を中心とした陵印を管理しており、色紙などに捺印してもらうことができます。

**街景写真:** 長尾街道、東高野街道、竹内街道

**桜の写真:** 津堂城山古墳 小山花しょうぶ園、野中宮山古墳(上)、古室山古墳(下)の桜

**陵印の写真:** 古市古墳群の歴史